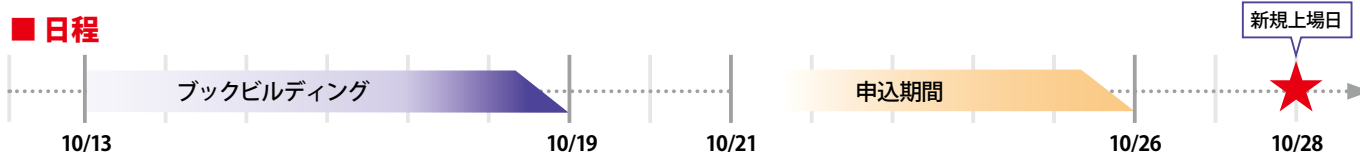


IPO銘柄 バルニバービ (3418・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3418	100株	公募: 25.50万株 売出: 23.80万株 (OA7.39万株)	2,350円~2,500円 (15.6倍)	SMBC 日興証券



高い店舗開発力を武器にレストラン事業を多角展開

■ 事業内容

レストラン事業を主軸にスイーツ事業、健康志向のアスリート食堂事業を手掛ける。レストラン事業では内装にこだわった高級イタリアンの「GARB」や鉄板焼きバーの「サヴァ?」、鹿児島料理の「本家かのや」などを展開。自社ブランドのほか、付加価値の高い海外ブランドとの提携により、ナポリのピッツェリア「アンティーカ ピッツェリア ダ ミケーレ」や、シンガポールチキンライスの「ウィーナムキー ハイナンチキンライス」も展開する。レストラン事業で培った商品開発力と立地開発力を活用したスイーツ事業、大学との産官学連携プロジェクトのアスリート食堂事業も展開する。アスリート食堂事業はスポーツ栄養学に基づくメニュー構成を特徴としている。15年7月期第3四半期累計(14年8月~15年4月)の売上高構成比は、レストラン事業が89.6%、スイーツ事業が7.0%、アスリート食堂事業が2.8%、その他が0.6%。

■ 特徴

既定業態の多店舗展開ではなく、その土地、場所に合うように1店舗ずつ丁寧に开店し、短期的な流行を追わずに幅広い利用用途を提供。マニュアルではなく、各店舗が状況に合わせたきめ細かいメニュー、サービス、イベントを提供するなど、工夫した運営が行われている。开店は「バッドロケーション」と呼ばれる、店前通行量が少ない場所のテナントを得意とする。初期投資やランニングコストが低く抑えられ、他にない魅力的な店舗作りによって、そういった开店環境でも集客を可能としている。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年7月期の連結経常利益は前期比15.9%増の5億5,700万円を計画する。开店ペースは年間10~15店舗程度。これまでの実績から、よりよい条件での开店が可能となり、収益力が高い。オリジナリティが強い店舗が多く、グループ内店舗間での競合や陳腐化への懸念も乏しい。

■ 定性分析

外食セクターの新規上場案件は特段人気というわけではないが、需給主導で初値を上昇させるものは多い。外食セクターの中でも独自性の強い事業展開を行っており、バッドロケーションへの开店戦略による収益力の高さが評価材料となりそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は14億円程度。ベンチャーキャピタル保有株がないことから、公開株式以外の売りが出づらい構造にあり、需給面への不安は乏しい。なお、11月4日の日本郵政グループ3社同日上場の直前案件となる。(小泉健太)

■ 類似企業

バルニバービ (3418・マザーズ)	予想PER15.6倍 (仮条件上限)
ゼットン (3057・名証2部)	予想PER—
グローバルダイニング (7625・東証2部)	予想PER100.3倍

■ 引受証券

SMBC 日興証券、大和証券、みずほ証券、SBI証券、岩井コスモ証券、エース証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年7月期(実績)	5,950	14.7	251	▲ 8.4	168	41.0	92.7	—
15年7月期(実績)	6,642	11.6	480	90.9	295	75.3	162.6	—
16年7月期(会社予想)	8,551	28.7	557	15.9	322	8.9	160.0	—

※株式分割を14年7月(1株→100株)、15年7月(1株→5株)に実施。14年7月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年7月期	3,639	2,664	474	99	260.7	17.8	28.9
14年7月期	363,900	3,128	731	99	353.5	20.6	30.2

※13年7月期および14年7月期のBPSは遡及修正

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	佐藤 裕久	976,000	49.97
2	HUMO	710,000	36.35
3	中島 邦子	75,000	3.84
4	安藤 文豪	40,000	2.05
5	辻元 拓士	22,500	1.15
5	田中 亮平	22,500	1.15
7	佐藤 隆子	21,500	1.10
8	バルニバービ従業員持株会	7,000	0.36
8	北尾 志津	7,000	0.36
9	上山 英介	5,000	0.26

経営陣

	役職	氏名
	代表取締役社長	佐藤 裕久
	常務取締役 営業本部長	安藤 文豪
	常務取締役 企画本部長	中島 邦子
	取締役 管理本部長	辻元 拓士
	取締役 営業本部副本部長	田中 亮平
	取締役 管理本部副本部長	水澤 完昭
	取締役	谷間 真
	常勤監査役	柴田 政義
	監査役	北山 雅章
	監査役	青木 巖

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・SBI証券が保有する株式等や主幹事担当会社の重要な開示事項（利益相反関係等）についてはSBI証券WEBサイト（http://search.sbisecc.co.jp/v2/popwin/info/home/pop690_kaiji.html）をご確認ください。または、カスタマーサービスセンター（0120-104-214（携帯電話・PHSからは03-5562-7530））までお問い合わせください。
- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会